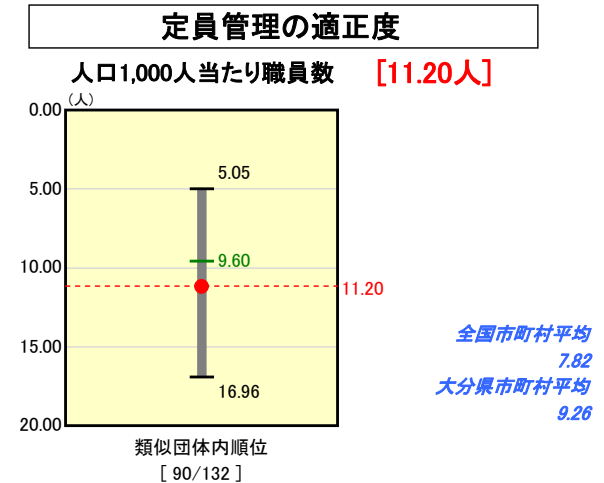
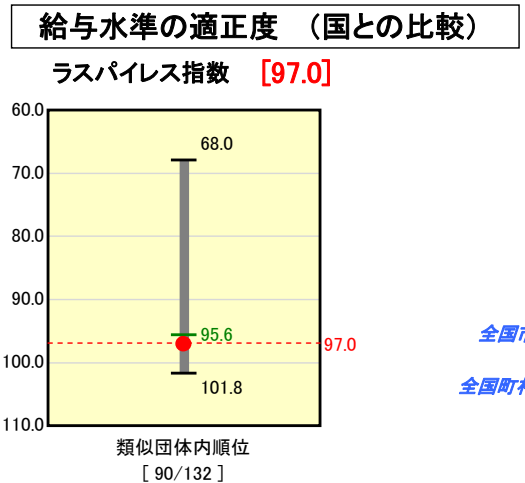
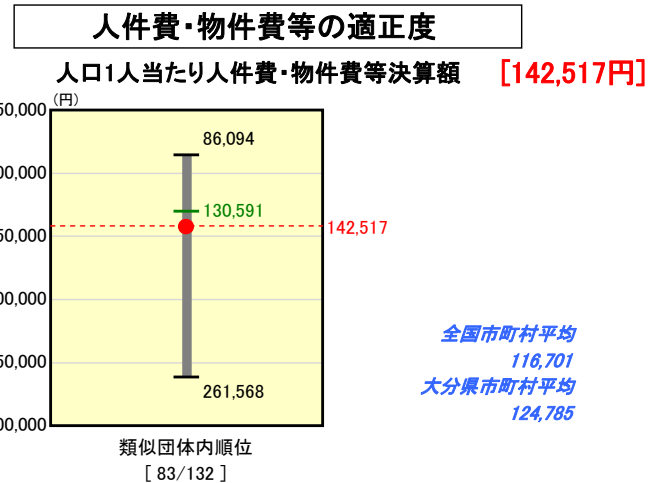
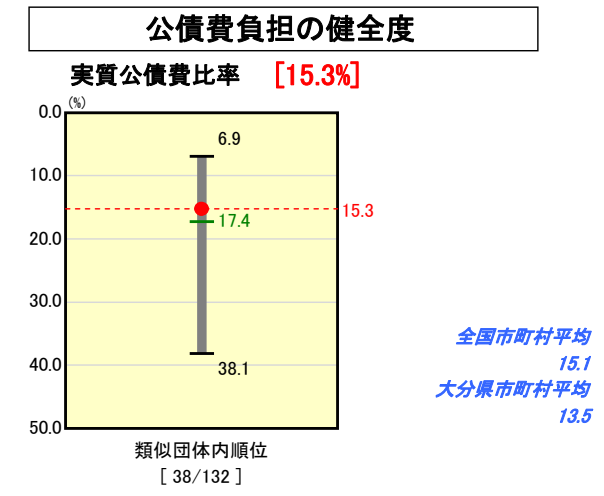
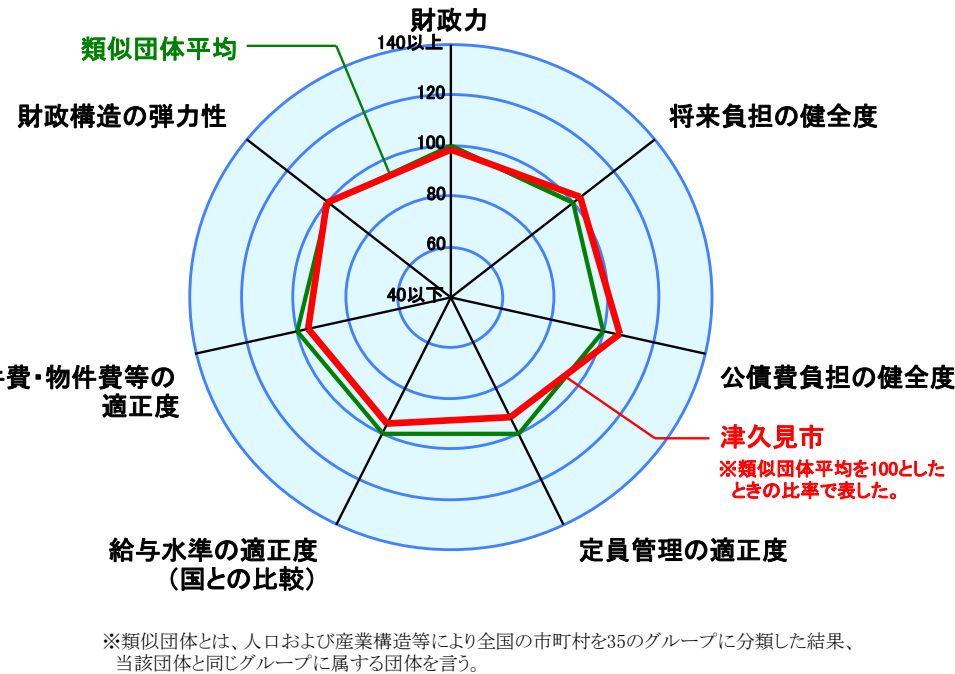
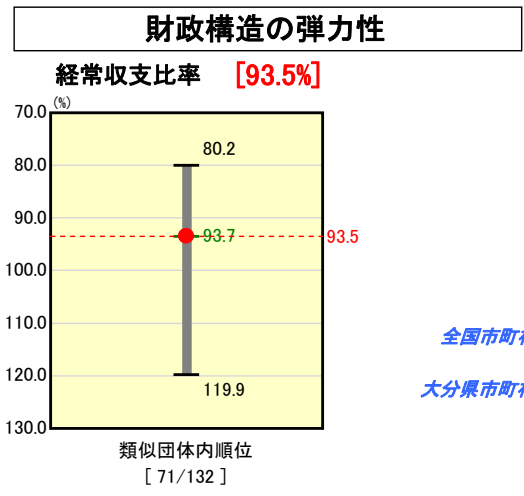
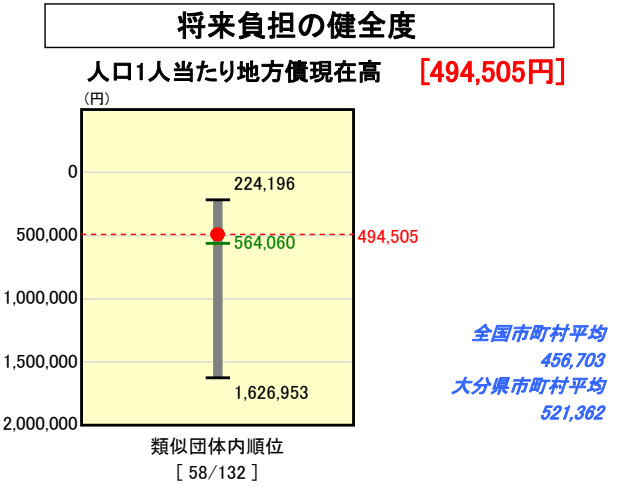
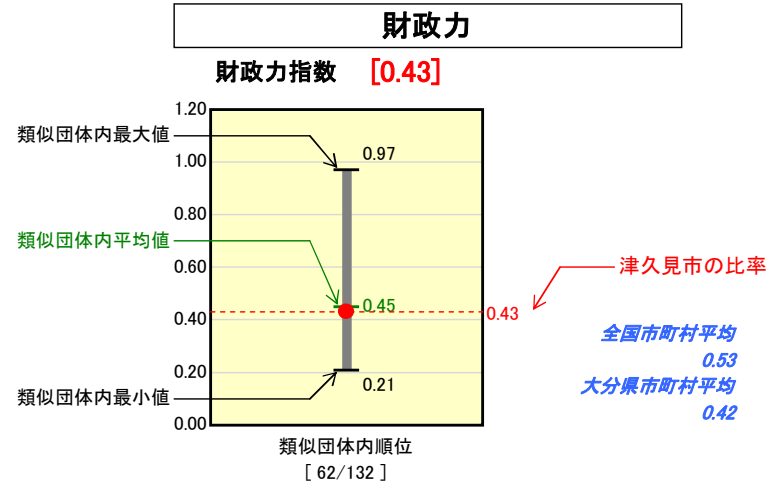


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

大分県 津久見市

人口	21,963	人(H19.3.31現在)
面積	79.51	km ²
歳入総額	8,838,149	千円
歳出総額	8,736,077	千円
実質収支	97,571	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

【財政力指数】
人口の減少や全国平均を上回る高齢化率、離島・半島を抱えた地理的条件により類似団体平均を下回っている。前年度と比べ0.02伸びているが、財政状況が好転しているわけではない。制度改正により市税は増加したが、地方交付税は減少しており、今後とも徴収強化など歳入の確保に取り組み、職員の定数管理・給与の適正化等により義務的経費を削減し行政の効率化に努め、持続的な財政体質の健全化を図る。

【経常収支比率】
前年度に比べ4.2%改善している。平成16年10月より職員給与の5%カットと管理職手当の減額及び職員数の削減などにより人件費、借入の抑制などにより公債費等の削減に努めている。今後とも市税の徴収強化等の収入確保とともに、人件費の削減をはじめ、公共施設・事務事業・補助金の見直し等、さらなる行財政改革の推進を図り改善に努める。

【人口1人当たり地方債残高】
類似団体の平均は下回っている。地方債の残高は減少しており、今後とも地域の自立や活性化につながる基盤整備や生活関連社会資本整備など、緊急度・住民ニーズに応じた事業を選択し、市債に依存しない財政運営に努める。

【実質公債費比率】
前年度に比べ0.3%悪化している。借入の抑制などにより、類似団体平均を下回っている。今後とも、地域の自立や活性化につながる基盤整備や生活関連社会資本整備など、緊急度・住民ニーズに応じた事業を選択し、市債に依存しない財政運営に努める。

【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】
公共施設の指定管理者制度の導入や業務のアウトソーシング(外部委託化)を進めることにより、物件費は増加傾向にあるが、人件費においては、平成16年度から平成20年度までの5年間で、職員全体を20%(65人)削減、職員給与の5%カットと管理職手当の減額などを行い、計画的な削減に努める。

【ラスパイレズ指数】
「津久見市緊急行財政改革実行計画」を平成16年10月に策定し、全職員5%カット及び手当の削減等を実施してきたことにより、全国市平均を下回っている。今後においても国に準拠した給与と制度の見直しを行い、適正化に努める。

【人口1,000人当たり職員数】
「津久見市緊急行財政改革実行計画」に基づき、平成16年度からの5年間で職員の20%(65人)削減を目標としている。事務事業や組織機構の更なる見直しを行い、この計画の確実な達成を図る。